



国際会長 (IP) Jennifer Jones (オーストラリア)

“Building today for a better tomorrow”

「よりよい明日のために今日を築く」

アジア太平洋地域会長 (AP) 田中 博之 (東京多摩みなみ)

“Action!” 「アクション」

東日本区理事 (RD) 山田 敏明 (十勝)

「勇気ある変革、愛ある行動！」

“Innovation with Courage, Action with Heart”

湘南・沖縄部部长 (DG) 森田 幸二郎 (沖縄)

「ワイズを社会に広める基盤の再構築をする」

横浜クラブ会長 (CP) 古田 和彦

「YMCA、地域、ワイズメンと共に！」

“With YMCA, With Community, With Y's Men!”

監事 松島 美一

ブリテン 伊藤 誠彦

担当主事 青木 一弘

会長 古田 和彦

副会長 金子 功

書記 古賀 健一郎

会計 大高 治

直前会長 金子 功

### <今月の聖句>

押川 幸男

イエスに触れていただくために、人々が子供たちを連れて来た。弟子たちはこの人々を叱った。しかし、イエスはこれを見て憤り、弟子たちに言われた。「子供たちをわたしのところに来させなさい。妨げてはならない。神の国はこのような者たちのものである。はっきりしておく。子供のように神の国を受け入れる人でなければ、決してそこに入ることはできない。」そして、子供たちを抱き上げ、手を置いて祝福された。

(マルコによる福音書 10 章 13~16 節)

他方で、若者はどうか。自民党支持が圧倒的に多いと言われるし、実際の投票結果もそうなっている。この説明として、若者はインターネットの影響で保守化しているとか、あるいは、日頃、高い「コミュ力」「空気を読む力」が求められる中で、野党やデモというのは和を乱す邪魔な存在だと考えているからだという説明もある。しかし、一方で、同性婚や夫婦別姓を許容し、ブラック企業の搾取に反発するなど、本来的には左派に近い考えの人も少なくない。むしろ、主義主張とは別に、情報過多の時代の中、純粋に外れを引きたくないという思いから、自民党に入れる人が多いという分析がある。すなわち、若者=ネットメディア=政治的保守とは必ずしも言えないということである。

最近の若者は、すぐにネットの言うことをうのみにする、などと言われる。しかし、ネット上の某ブログの言うことをうのみにして、私の同業者や、果ては弁護士会にまで因縁を付けてきているのは、平均55歳で、幅広い職業の方々である。一方で、対象にした弁護士から訴え返され、間違いに気付いた人もいる。

ネットの世界では、絶対に双方とも折れない陣営同士で、いかに相手を論破するかということに汲々としている。しかし、実際に会ってみれば、意見は異なるとしても、どこかしらは分かり合える部分、共有できる部分というのがあるのかもしれない。

特に日本では、野球(応援しているチーム)と政治の話は、会合や商談においてタブーとされる。YMCAも特段の政治団体ではないし、ワイズも、一党一派に偏らない正義を追求するのが目的とされる。しかし、どのような分野であれ、価値観の異なる他者と対話するということは、今後ますます避けて通れなくなりそうである。ワイズというの、そういう

### 今月のひとこと

#### 「ネットウヨとワイズ」

齋藤 宙也



最近、高齢者が、晩年に嫌韓などのサイトにはまり、いわゆるネットウヨ化するという現象が起きているらしい。ごく普通の、昭和の、高度経済成長期に各企業で活躍してきた方々のようである。横浜クラブの場合、ワイズメン

も、このような高度経済成長期に各企業で活躍してきた方々が多い。しかし、ワイズメンと違って、退職後に居場所がなくなって、ふとしたきっかけに嫌韓などのサイトを見付け、「真実」に目覚めてしまったという流れがあるようである。

## <2019年7月例会実績>

在籍者	出席者	出席率	B F
12名	メン 7名 メネット 0名 コメット 0名 ビジター 0名 ゲスト 0名 合計 7名	75 % (メーキャップ 2名を含む) 前月修正 出席率 %	今月分 切手 0g 現金 0円 年度累計 切手 0g 現金 0円

## <8月の行事予定>

### キックオフ、Yサービス、ASF、RBM

日	曜	時間	行事内容	場所
2-4	金	10:00	エイズ文化フォーラム	県民ホール
22	木	18:30	第一例会・納涼会	ロイヤルホール横浜

対話のプラットフォームになり得ると思う。

一人寂しくパソコンでネットウヨ化する暇があったら、ワイズに来ればいいのに・・・と思うが、それだとますますクラブの年齢構成が固まってしまうという落ちである。

## 「第一例会報告」

日時 : 7月11日(木) 18:30~20:30  
場所 : 横浜中央YMCA 801号室  
出席者 : 青木、伊藤、大高、金子、古賀、斎藤、古田  
ビジター、ゲストは無し

7月の例会は新年度を迎えてのキックオフ例会であると同時に、定時総会の月でもある。例年であれば、部長公式訪問が実施される月であるが今回の部長公式訪問はなかった。今村讚ワイズの前期末の退会により、クラブ会員の登録数が12名と言う横浜クラブにとっては最小人数になり、しかも、欠席者が5名あり、出席者7人でのキックオフ例会であった。

例会は伊藤ワイズの司会により、古田会長の開会点鐘、挨拶をもって定刻に開始された。ワイズソング、ワイズの信条を唱和の後、古田会長より、今月の聖句について解説いただいた。

今回の食事は、古田会長が準備した勝烈庵のヒレカツ弁当で、まだぬくもりが残るおいしいものであった。

本日の欠席者のうち4人が委任状を提出していたため、総会成立を確認し、直ちに、古田会長を議長として議事が進められた。

第1号議案は前年度の事業報告である。ブリテンに報告された各種行事を月別毎に記録した活動報告に加え、会員の異動状況、会員の出席状況、実績評価が報告され承認された。

第2号議案の各事業委員報告は、活動報告の中で報告されたとの理解で承認された。

第3号議案は会計報告である。予算ベースでも81,150円の赤字を覚悟の予算案であったが、支出削減努力により赤字幅は53,641円に縮小された。会員数の減少が、収支バランスを困難にしている主な原因であることが指摘された。

第4号議案のクラブ役員、事業委員は提案通りの陣容で承認された。

第5号議案の事業計画は、基本的には昨年と同じ方針であるが、更に地域奉仕サービス、他クラブとの交流にも注力したいとの表明があり、承認された。

第6号議案は新年度の予算案である。会員減少による厳しい状況から64,005円の赤字覚悟の提案であったが、繰り越し剰余金から補填することで承認された。

総会終了後は、定例のクラブビジネスに移り、今後の予定を確認すると同時に、来月に控えた納涼会、また、9月の日本語スピーチコンテストの実施要領について協議した。

## 「第1回湘南・沖縄部評議会報告」

伊藤 誠彦

日時 : 2019年7月27日(土) 15:00~17:00  
場所 : 横浜中央YMCA 811号室

伊藤部書記の司会により、森田部長による開会点鐘に始まり、ワイズソング、ワイズの信条を唱和、青木部担当主事の聖書朗読、祈祷により開会された。司会者により定足数が確認され、議事は森田部長により進められた。

- ① 第1号議案は、18-19年度事業報告。佐藤直前部長により、前年度の事業実績が感謝の言葉と共に報告されました。特筆すべきは、新しい企画として実施されたフレッシュセミナー。これは比較的ワイズ歴が浅い会員を対象に加藤利榮ワイズ、鈴木茂ワイズ、辻剛ワイズを講師としてワイズについて学ぶために開催されたものです。もう一つは、部がスポンサーとなって設立された新クラブ、横浜つるみクラブの誕生です。これにより傑出した働きをした部長に与えられる国際賞であるエルマークロー賞が佐藤部長に与えられています。その陰には、辻剛部エクステンション委員長、古賀会員増強事業主査らの働きがあったことは言うまでもありません。
- ② 第2号議案は伊藤直前会計による決算報告。
- ③ 第3号議案は森田部長による19-20年度の事業計画説明。
- ④ 第4号議案は伊藤会計による19-20年度の予算案の報告。
- ⑤ 第5号議案は辻エクステンション委員長による委員会規定改定の提案。

いずれの議案も出席者の拍手による賛同を得て承認されました。

続いて、報告・連絡事項。各クラブ会長よりクラブの最新トピックスや報告事項の紹介がありました。

古田会長からは8月22日に計画している合同納涼会へのクラブとして、または、個人としての参加呼びかけ、9月2日の日本語スピーチコンテストの紹介がありました。また、青木部担当主事からはAIDS文化フォーラム、新たに青木さんご自身が開催の責任者になられた日本語スピーチコンテスト、チャリティーランの案内などがありました。

今評議会は、初めての在沖縄在住クラブから選出された部

執行部主催による評議会でしたが、順調な滑り出しを印象づけました。

横浜クラブ参加者：青木、伊藤、大高、金子、古田

## 第28回アジア太平洋地域大会報告

金子 功

第28回アジア太平洋地域大会は7月19日(金)～21日(日)仙台国際センターで開催された。東西日本区を中心に、海外からも168名、又、28名のユースも含め合計811名が参加した。湘南・沖縄部からは21名、内、横浜からは4名であった。



湘南・沖縄部からの参加の皆様

大会のテーマは「Action! 前へ進もう」で東日本大震災の被災により、今も復興に取り組む多くの人々の現実を直視し、今後、我々にできることは何かを考える大会であった。

従って、初日の公開講演Ⅰは「東日本大震災からの復興と防災への取り組み」と題する村井嘉浩宮城県知事の講演であり、公開講演Ⅱは「復興と防災の未来」と題する国崎信江氏(危機管理教育研究所代表)のお話であった。

初日の直前アジア会長主催の晩餐会は、仙台出身のさとう宗幸氏のミニコンサートで始まった。「青葉城恋歌」に引き続き「花が咲く」を披露する頃には会場が一体となる盛り上がりを見せた。

2日目は、エクスカッションである。大会の趣旨に従って、福島第1原発20Km圏内の視察を含め、4コースに分かれての、いずれも被災の現実と復興の現状を知るバスツアーであった。東松島～松島コースは大人気で308名の参加者があった。

2日目の晩餐会は田中博之アジア太平洋地域会長の主催である。モッシージャズオーケストラの演奏の他、元気なユースのパフォーマンスや、参加各国の出し物で賑わった。

このような国際大会の一つの目的は交流を深め、新しい出

会いの場を提供することである。横浜クラブにとって、今回IBCであるバンコククラブのウィチャン氏とタウィーチャイご夫妻と交流が持てたことは有意義であった。

現在バンコククラブの会長はウイ



IBC/バンコククラブのウィチャン氏と

チャン夫人だとのことであった。今回、他のIBC、又、DBCの参加が無かったのは残念であった。

今回大高さんがマーシャルとして内外の案内に活躍、古賀さんも初日外国人の受付デスクで大いに活躍されました。

横浜クラブ参加者：大高、金子、古賀、齋藤。



DBCが検討されている熊本スピリットクラブの方々と

## 「第26回 AIDS 文化フォーラム in 横浜 報告」

古田 和彦

横浜での第26回目となるエイズ文化フォーラムが、8月2日(金)から4日(日)まで、横浜市神奈川区鶴屋町のかながわ県民センターで行われました。

この企ては、1994年8月横浜で開催された第10回国際エイズ会議をきっかけに、横浜YMCAを中心とする市民たちの手弁当で始めたものです。横浜ではそれ以来毎年開催し26年目を迎えました。そして、この運動は今では京都、佐賀、名古屋、陸前高田へと広がっています。

8月2日、10時の開会の前、9時半から組織委員会が開かれ、委員長の田口努横浜YMCA総理事はじめ、横浜いのちの電話、カトリック横浜教区、神奈川県保健福祉局の代表者とともに、ワイズメンズクラブ湘南・沖縄部を代表して森田部長の代理で、次期部長の私が出席しました。

10時からのオープニングには260席の会場がほぼ満席の参加者が集まり、その中で、組織委員として挨拶をしました。

引き続き、「<話す>と<リアルに>」のテーマの下、40を超えるセッションが3日間にわたり開かれました。

私は、上記の開会式、開始のセッションのほか、最終日にボランティアのお茶をいただき、一つのセッションを垣間見、閉会式に参加しました。

看護学校の学生など多くのボランティアに支えられ、エイズに対する偏見をなくすこの運動は、エイズ感染者に限らずマイノリティの方々の人権を守り、生きやすい世の中を作り出す働き的一端を担っているのだと、しみじみ感じました。

横浜クラブ参加者：古田

## 「近況報告」

遠藤 喜七



今年の夏は、温暖化により、異常気象で猛暑が続いています。皆様、健康に気を付けご自愛下さるようお祈りします。

私ごとですが、30数年、諸先輩の指導により、マンションを管理させて頂き、現在一人歩き出来る状況になりました。

マンションも40年過ぎますと、漏水事故、大規模修繕工事、住民も高齢になり、認知症による火災事故、孤独死、万引き、徘徊、未納金によるマンション競売等々、

生活に関する諸問題への対応と、多忙な日々を過ごさせて頂いております。これも、健康な肉体を頂いた、両親からの賜と感謝する、今日この頃です。

長男も高校野球の監督をさせて頂き、今年は3回戦まで勝ち進み、部員も20名と増えました。実力を発揮できて、本人も、野球を通じて生徒の人格形成をめざし、カリスマ監督として精進している姿に感動している親バカであります。

次男坊は7月の七夕の日に女の子供を授かり、私も、お爺ちゃんになりました。

これからも、感謝と奉仕の心で、元気で明るく、人様に元気を与え、喜んで頂けるよう精進させて頂きますので、宜しくお願ひ申しあげます。

## 第二例会報告

伊藤 誠彦

日時：7月25日(木)17:00~19:30

場所：横浜中央YMCA 811号室

出席者：青木、伊藤、大高、金子、古賀、古田

行事予定、及び、協議・報告事項の確認を行った。

9月2日の日本語スピーチコンテストはコンテストが10:00~12:30(於、県民小ホール)、交流会(含、表彰式)は13:00~14:00(於、中央Y)、を確認した。横浜クラブに要請されている審査員は大江ワイズを中心に調整、交流会司会は古賀ワイズにお願いする。

8月22日の合同納涼会は、鎌倉クラブ、横浜とつかクラブとの3クラブ合同の開催とする。プログラムや役割については3クラブで相談して決定する。

ブリテン8月号と9月号の編集計画を確認。発行部数については、従来80部印刷していたが、今後はデジタル化の流れを受けて50部程度の発行とする。

横浜クラブ90周年記念行事についての基本構想が示されたが、今後、引き続き検討することとした。



担当主事 青木 一弘

### ●第22回 横浜YMCAインターナショナル・チャリティーラン

1987年、日本YMCA同盟国際賛助会(FCCSC)の主催により、全国初のチャリティーランが東京で開催され、そこで、集められた寄付金を全国の障がいのある子どもたちに、キャンプに参加する機会を提供しようという趣旨のもと、昨年度は、全国20カ所(北海道、盛岡、仙台、茨城、とちぎ、埼玉、千葉、東京、横浜、山梨、名古屋、滋賀、大阪、神戸、奈良、和歌山、広島、福岡、熊本、鹿児島)で実施され、1,048チームが参加、43,457,748円の支援となりました。

昨年度の第21回横浜YMCAインターナショナル・チャリティーラン」では、109チーム(545名)が参加し、寄付金、協賛金等合計602万円のうち事務局経費を除いた323万円が神奈川県内のYMCAを通じて障がい児(者)の支援プログラムのために、138万円が日本YMCA同盟を通じて全国のYMCAで行われる障がい児(者)支援のために用い

られております。

今年度も、横浜YMCAでは、多くの皆さまの協力の下、本年も引き続き「チャリティーラン」を開催したく準備を進めております。ご協力をお願いします。

開催日 2019年11月16日(土) ※少雨決行  
開催場所 横浜みなとみらい21地区 臨港パーク  
時間 9時~14時30分

### ●横浜中央YMCA「ウエルカムフェスタ」のご案内

今年度も、11月23日(祝・土)に「ウエルカムフェスタ」を行います。皆様のご理解とご協力をお願い致します。

※9月9日(月)より、バザーの献品を募集いたします。

テーマ：「笑顔でつながるポジティブネット」

内容：バザーや模擬店などYMCA国際・地域協力募金のための寄付イベントです。

### 横浜、鎌倉、横浜とつか 3クラブ合同8月納涼例会プログラム

日時：8月22日(木) 18:30~20:30

場所：ロイヤルホール横浜

司会：横浜：古賀ワイズ

1. 開会点鐘および挨拶 . . . . . 横浜：古田会長
2. ワイズソング・ワイズの信条 . . . . . 全員
3. 今月の聖句 . . . . . (司会者代読)
4. 鎌倉クラブ入会式 . . . . . 司式 鎌倉：千葉会長
5. ビジネス・報告 . . . . . (3クラブ)
5. 食前感謝 . . . . . 横浜：田口ワイズ
6. 食事・歓談
7. 加藤メン・メネへの感謝の言葉 厚木：佐藤直前部長
8. 加藤ワイズ ワイズ還暦祝い . . . . . 横浜：古田会長  
とつか：浦出会長
9. ハッピーバースデー
10. 閉会点鐘 . . . . . とつか：浦出会長

例会報告 古田ワイズ

### 9月の行事

日	曜	時間	行事内容	場所
2	月	10:00	スピーチコンテスト	県民(小)ホール
3	火	19:00	Y-Y's 協議会	中央Y
6-8			YVLF	東京Y山中湖
12	木	18:30	横浜クラブ第一例会	中央Y
26	木	17:00	横浜クラブ第二例会	中央Y

当ブリテン及び横浜ワイズメンズクラブに関するお問い合わせは、YMCA青木一弘にご連絡下さい。

メール [aoki\\_kazuhiro@yokohamaymca.org](mailto:aoki_kazuhiro@yokohamaymca.org)

電話 045-661-0080